

1308

永	20	3
永		

軍務二機密第三七の號

軍務局長 第二課長 局員

昭和七年八月二十七日 軍務局長  
横鎮參謀長宛

機雷及聽音機敷設ニ關スル件回答

八月十日附横鎮機密第一二〇一號ヲ以テ御照會

ノ首題ノ件差支無之候

進テ部外ニ其性質上秘密トシ公表セザルコト

ニ取計置候

終

海軍

横造牛葉十三行罫紙(富井納)

極秘

軍務局

横領機密第一二〇號

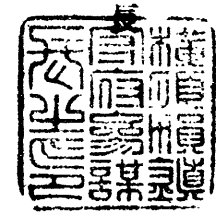
昭和七年八月 十日

横須賀鎮守府參謀

第二課

海軍省軍務局長殿

大誌



機雷及聽音機敷設ニ關スル件協議

官房機密第八九四號訓令ニ依ル九二式機雷試製實驗ノ爲左記ニ依リ

機雷及水中聽音機ヲ敷設致度

記

一 場 所 觀音崎燈臺ノ一〇度二〇〇〇米ヲ中心トシ半径八〇〇

米圍内(機雷及水中聽音機敷設)竝ニ同地點ヨリ伊勢

山崎ニ至ル(電纜敷設)

二 敷設物件 機雷(炸藥及信管ナシ)

水中聽音機

六個 一個

1309

本件左記理由ヨリ  
初外公表セザル  
トス

一 機雷ノ聽音機

二 水中機雷

三 敷設物件

四 敷設物件

五 敷設物件

軍務二機密第三七〇號

海軍

軍務局 7.8.25 第二課

横須賀鎮守府附箋用紙

昭和七年 佐藤 本件 然ルベク

眞録

ニ依リ

ハ〇〇  
リ伊勢

軍務局  
7.8.25  
第二課

横須賀鎮守府附箋用紙

昭和七年八月二十日

篠田横須賀鎮守府參謀

佐藤海軍省軍務局々員殿

本件箋ニ御相談致シタルモノニ有之  
然ルベク御取計ヲ得度

(終)

1310

期

間

以上何レモ最底潮面ヨリ十五米以上ノ深度ニ敷設ス  
 電 纜 二條（海底）  
 自昭和七年八月二十日  
 至同 八年八月二十日

（終）

海 軍